

2018年7月30日 多能工化の効能について

※一言要約： マルチスキルは、有能であることの証です。

「多能工」は「マルチスキル」とも呼ばれ、1人で複数の業務や行程をこなす従業員の能力の事を言います。会社の人材に、複数の業務や工程をこなせるように教育・訓練することを「多能工化」といいます。

多能工化するメリット

- ・業務負荷の平準化
特定の従業員への業務負担や残業の発生を抑制できる。
- ・業務改善
担当外だった従業員が新しい業務を覚える時、課題が見つかる。
- ・スキルアップ
互いに教える・教わる事でスキルアップに繋がり、従業員が潜在的に有する能力を発揮でき、「やりがい」に繋がる。
- ・リスク管理
欠勤などのイレギュラー時に、応援体制が布け、納期遅延等が防止できる。

多能工化するデメリット

- ・従業員のモチベーション維持
新しいスキルを身につける上で重要なのは、その努力に対する動機付けです。マルチスキルになってもならなくても、処遇が同じでは、モチベーションが低下していきます。多能工化を進めるためには、業務内容やスキルを適正に評価することが大切です。
- ・適切な管理。指示が必要
多能工は複数の業務を行うスキルがあり、各個人の判断で業務を行ってしまうと、他の人と重複した業務になったり、業務の責任が不明確になりがちです。そのため、現場のコントロールが重要になります。

多能工は、単なる便利屋ではなく、マルチスキルで有能であることの証です。正しく運用し、正しく評価して、大きな経営効果(メリット)を出していきましょう。